

JIS

パルプーロットの絶乾率の試験方法

JIS P 8202 :1998

(2005 確認)

平成10年11月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって **JIS P 8202:1976**は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正に当たって、対応国際規格、

ISO 801-1, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 1 : Pulp baled in sheet form

ISO 801-2, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 2 : Pulps (such as flash-dried pulps) baled in slabs

ISO 801-3, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 3 : Unitized bales

との整合化を行った。

なお、これらの国際規格には、販売質量試験方法が規定されているが、これについては今後 **JIS**化する予定である。

JIS P 8202には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (規定) シート状ペールパルプからの試料採取方法

附属書 2 (規定) スラブ状ペールパルプ (フラッシュドライパルプなど)からの試料採取方法

附属書 3 (規定) ユニットペールからの試料採取方法

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 36.2.1 改正：平成 10.11.20

官 報 公 示：平成 10.11.20

原案作成協力者：紙パルプ技術協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 消費生活部会 (部会長 小見山 二郎)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部消費生活規格課 (〒100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 - 1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

パルプ—ロットの絶乾率の試験方法 P 8202 : 1998

Pulps—Determination of absolute dryness of pulps in lots

序文 この規格は、1994年に第2版として発行された **ISO 801-1**, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 1 : Pulp baled in sheet form, **ISO 801-2**, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 2 : Pulps (such as flash-dried pulps) baled in slabs及び**ISO 801-3**, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 3 : Unitized balesを基に、この規格で規定する規定内容のうち対応国際規格と対応する部分(試料採取方法及び絶乾率測定方法)については技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目(ラップパルプ)及び対応国際規格には規定されていない規定内容(ユニットベール以外の試料採取方法に **JIS P 8201**を併記)を日本工業規格として追加した。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、シート状ベールパルプ、ラップパルプ、スラブ状ベールパルプ及びユニットベールのロットの絶乾率を測定する方法について規定する。

備考1. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 801-1:1994, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 1 : Pulp baled in sheet form

ISO 801-2:1994, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 2 : Pulps (such as flash-dried pulps) baled in slabs

ISO 801-3:1994, Pulps—Determination of saleable mass in lots—Part 3 : Unitized bales

2. この規格の中の **JIS**又は **ISO**規格の選択箇所は、規格全般にわたり **JIS**又は **ISO**規格のどちらか一方を選択する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS P 0001 紙・板紙及びパルプ用語

JIS P 8201 製紙用パルプの試料採取方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、**JIS P 0001**及び**JIS P 8201**によるほか、次による。

a) **絶乾質量 (oven-dry mass)** 質量が一定になるまで、パルプを105±2 °Cで乾燥して得られた質量。

b) **絶乾率 (absolute dryness)** パルプの乾燥前の質量に対する絶乾質量の比率。パーセントで表す。

c) **スラブ状ベールパルプ (pulp baled in slab)** 通常、ベールが、4～6個のスラブ(平板状パルプ)又はワッド(wads: 小塊状パルプ)で構成されているもの。

d) **ユニットベール (unitized bale, unit)** 通常、ベールパルプを8ベールずつ鉄バンドで結束した集合体。

4. 原理 この規格の規定に従って、ロットから採取した試料の乾燥前質量及び絶乾質量を測定し、ロットの絶乾率を求める。